

# 阪神・淡路25周年記念事業 地域と未来をつなぐ “ひょうご基幹道路ネットワーク” シンポジウム 播磨会場 開催結果



開催日時：令和元年12月16日（月）14:00～16:00 （敬称略）

場 所：加古川プラザホテル（加古川市加古川町溝之口 800）

参加者：約400名

来 賓：○播磨臨海地域道路整備促進国会議員連盟

渡海紀三朗 会長、末松信介 事務局長、（代理）松本剛明 副会長  
（代理）加田裕之 参議院議員

○播磨臨海地域道路網促進期成議員連盟（兵庫県議会議員連盟）

山本敏信 会長、松本隆弘 副会長、水田裕一郎 事務局長  
掘井健智 理事、上野英一、迎山志保、天野文夫、柴田佳伸

○国土交通省近畿地方整備局

磯部良太 姫路河川国道事務所長 他

## 1 来賓挨拶

○播磨臨海地域道路整備促進国会議員連盟 渡海会長

- ・ 播磨臨海地域道路は、地域の活性化には絶対に欠かせないもの。
- ・ これからが正念場であり、皆さまとともに頑張っていく。



渡海会長

○播磨臨海地域道路整備促進国会議員連盟 末松事務局長

- ・ 皆様の熱意を東京にしっかり届けたい。やめれば失敗、続ければ成功。地道な努力を続けることが大事。一日でも早い着工・完成を願う。



末松事務局長

○播磨臨海地域道路網促進期成議員連盟 山本会長

- ・ 毎年、国会議員連盟に市町長、商工会議所、地域の皆様方と一緒に参加し、頑張っている。



山本会長

## 2 基調講演 「ひょうごの歴史 まちづくりとみちづくり」

神戸大学経済経営研究所特命講師 小代薫

- ・ 明治初期の神戸の居留地では、外国人らが議論しながらまちづくりを進めた。
- ・ 兵庫県では、その手法を参考に、道路整備が他地域に先駆けて進み、山陰地方と神戸がつながるなどした。
- ・ 兵庫県はまちづくりとみちづくりの発祥の地。



小代特任講師

## 3 話題提供 「はりまのみちづくり」

兵庫県副知事 荒木一聡

- ・ 播磨臨海地域は、工業地帯や基幹道路の整備とともに産業が発展してきたが、人口減少対策や産業活性化などの課題を抱えている。
- ・ 道路ができれば、課題がすべて解決するわけではない。播磨臨海地域道路などを活用して、ひとりひとりがどのような播磨地域の将来像を描くのが重要。

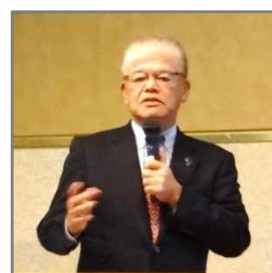


荒木副知事

## 4 事例報告 「圏央道による企業物流の活性化」

加古川観光協会 会長／加古川商工会議所 副会頭／  
オークラ輸送機株式会社 取締役副社長 大庫隆夫

- ・ 新しい道は渋滞を緩和するだけではない。物流施設などが整備されると新たな産業が生まれ、雇用が生まれる。
- ・ 播磨臨海地域道路は絶対必要。新たな道路の周辺には産業構造の変化を見据えて将来性のある企業を誘致すべき。



大庫会長

## 5 意見発表 「わたしたちが考えるはりまのみち」

兵庫県立東播工業高等学校 土木科 2年生

- ・ 生徒の99%は自転車通学で、通学路では交通渋滞や事故が多く、危険を感じている。子どもや高齢者等の交通弱者の被害をなくすために、対策が必要。
- ・ 渋滞や事故を減らすために、播磨臨海地域道路が早くできてほしい。土木科の生徒としては、将来、建設に携わりたい。



兵庫県立東播工業高等学校 土木科2年生